

第八回齋藤ゼミ議事録

2020/6/17(水)

担当：鈴木

0. 連絡事項

合同ゼミの日程（おおよそ）

9月第2週（9/7~9/12） 高知→東京

9月第3週（9/14~9/18） 東京→高知

1. 朝一

- ・飯島：再生エネ自立へ、法成立 固定価格で買い取り→市場で販売、定額補助
→普及後押しで再生可能エネルギーの買取価格が固定価格から変動価格へ。事業者にとっては○。
- ・天野：“DX（デジタルトランスフォーメーション）”で交わる「デジタル」と「伝統」
→伝統的産業とデジタル産業の融合で新たなビジネスモデルが生まれる。
コロナ禍や5G普及でDX進むだろう。

2. 企業研究発表

企業：ソフトバンク

担当：助川、山内、鈴木とも

○基本情報

ソフトバンクグループ→戦略的投資会社

代表者：孫正義

子会社：1,141社・関連会社：385社

○事業（株式会社ソフトバンク）

通信事業

キャッシュレス事業

→PayPay

モビリティ事業

→ソフトバンク×トヨタ「MONET」…自動運転車「e-Palette」でMaaSへの取り組み

→「DiDi」：AIを使って、乗客とタクシーのマッチング

○財務分析から見るソフトバンクグループ

- ・当期純利益の振れ幅が大きい＝財務レバレッジが大きい
…事業に投下する資金が（自己資本に対して）大きい
- ・固定長期適合率：平均約100%

・ROA→2004年～ 通信事業が好調

⇒ソフトバンクグループは通信事業を軸に、大きく資金運用を行う会社。

○投資事業

ソフトバンク・ビジョン・ファンド (SVF)

- ・世界最大のレイター向け投資ファンド。
 - ・2019年9月時点で88社に707億ドル（約7兆7,900億円）を投資
 - ・AI群戦略として6つの分野に投資
 - …ECと物流/フィンテック/モビリティ/BtoB/ヘルスケア/不動産
- しかし、新型コロナの影響で投資先の業績悪化などで先行き不安。

○今後の展望

- ・米大手半導体メーカー「アーム」買収による利益
- ・Slackへの投資のリターン
- ・ソフトバンクホークスのAIチケット
- ・ソフトバンク Air
- ・PayPayとAlipayのサービス提携による効果